

# エヤーツイスター取扱説明書 <RC6>

御使用に際して、この取扱説明書を必ずお読み下さい。  
また、必要な時取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

## 注意 安全かつ正しくお使いいただくために、下記の事は遵守して下さい。



(1) つかみ部は、No. 4のパイロットAとNo. 5のパイロットBが高速で回転していますのでカバーであるNo. 1のガイドを外した状態では絶対に使用しないで下さい。



(2) 作業をしない時は、必ずエアー源をストップしておいて下さい。



(3) 能力以上（使用目的以外）での作業は行わないで下さい。

(4) 作業中の加工物のクズ（その他の異物）が目に入ったりする恐れがありますので、安全メガネを使用して下さい。

(5) 作業によっては、騒音レベルが85dB（A）を超えることがありますので防音用具（耳栓等）を使用して下さい。

## お願い

- 御使用方法
- (1) 必ずフィルターを通した、水分を含んでいない、エアーを使用して下さい。  
（水分を含んだエアーは内部にサビが発生し故障の原因となります）
  - (2) 充分なエアーを供給出来るように、エアー供給源のバルブは全開にして下さい。
  - (3) 作業前には、ホースニップル（吸気口）より2〜3滴位潤滑油を注油して下さい。  
◎潤滑油は、スピンドル油#60（ISO粘度#10）を使用して下さい。
  - (4) エアーホースは、充分にエアー流量のあるホースを使用して下さい。
  - (5) 空気圧は、0.4〜0.6MPaの範囲で使用して下さい。  
（指定空気圧以上による故障の責任は負いません）

## ■ツイスト方法（図1・図2参照）

- (1) 脱皮した線材を（1〜5本）図1のように、手でつかみNo. 1のガイド中心部に挿入して下さい。  
なるべく線材の根元をつかんだ方が、きれいにツイストできます。  
※電線径によっては、ツイストできる本数に限りがあります。
- (2) No. 28のレバーを押えて下さい。  
No. 2のホルダーが回転し遠心力により、No. 4のパイロットA及びNo. 5のパイロットBが中心方向に移動し、線材をツイストします。

作動スタート



- (3) 図2のようになった場合、（線材の挿入が不適当な場合）そのままの状態再度ツイストして下さい。

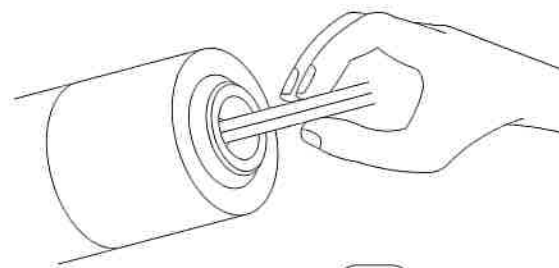
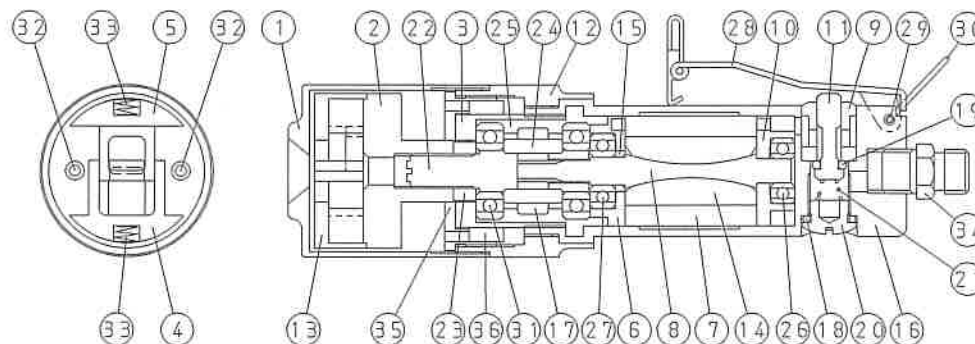


図1



図2

## 部品図・部品表



| 品番 | 部 品 名    | 品番 | 部 品 名     | 品番 | 部 品 名          |
|----|----------|----|-----------|----|----------------|
| 1  | ガ イ ド    | 13 | ホルダーガイド   | 25 | インターナルギヤー      |
| 2  | ホ ル ダ ー  | 14 | ローターベーン   | 26 | リヤーキャップベアリング   |
| 3  | ギヤーケース   | 15 | ローターカラー   | 27 | フロントキャップベアリング  |
| 4  | パイロットA   | 16 | 本 体 A     | 28 | レ バ ー          |
| 5  | パイロットB   | 17 | アイドルギヤー   | 29 | ロールピン          |
| 6  | フロントキャップ | 18 | Oリング      | 30 | フ ッ ク          |
| 7  | シリンダー    | 19 | Oリング      | 31 | インターナルギヤーベアリング |
| 8  | ローターB    | 20 | 止めメジ      | 32 | ホルダーボルト        |
| 9  | エヤー弁     | 21 | エヤーピン支えバネ | 33 | 皿 パ ネ          |
| 10 | リヤーキャップ  | 22 | ギヤー支え     | 34 | ニップル           |
| 11 | エヤーピン    | 23 | カ ラ ー     | 35 | 消音リング          |
| 12 | コネクター    | 24 | アイドルギヤーピン | 36 | フェルト           |

- 【注意事項】
- 修理に関しては当社宛にご依頼下さい。
  - 分解・改造による故障の責任は一切負いかねます。

（※仕様は予告なしに変更することがあります）



室本鉄工株式会社

●お問い合わせ先

大阪オフィス TEL 072-850-0091 (代)  
FAX 072-850-0082

